

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和5年度第2回入間市環境審議会
開 催 日 時	令和5年11月6日(月) 午後2時00分 開会 ・ 午後4時05分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 C 棟5階 501室
議 長 氏 名	黒瀧 孝秀
出席委員(者)氏名	黒瀧 孝秀、倉田 まさみ、小平 美雪、坂野 晶、嶋田 知英、新関 隆、平塚 基志、牧田 誉子、吉野 珠美
欠席委員(者)氏名	永井 健一、浦 国男、高村 賢二、平井 純子、平井 毅、増田 大美
説明者の職氏名	エコ・クリーン政策課 主査 西村 卓也
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議 題 令和4年度における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況について 4 事務連絡 5 閉 会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	3名(うち1名は WEB による傍聴)
配 布 資 料	資料1 本日の審議の流れ 資料2 環境報告書に対する委員からの質問および市の回答 資料3 資料2の補足資料 資料4 環境報告書修正箇所
事務局職員職氏名	【環境経済部】 部長 岸 道博、次長 横田 一洋、 副参事(脱炭素・資源循環担当) 中村 慧 【エコ・クリーン政策課】 課長 竹廣 由美、主幹 松落 義夫、主査 西村 卓也、 主事 神田 啓佑 【関係課職員】 環境経済部参事兼総合クリーンセンター所長 石井 治彦 生活環境課長 小島 文夫 農業振興課長 吉野 博明
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

#### 【審議会】

##### ○議題

令和4年度における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況について

資料1「本日の審議の流れ」に沿って、事前質問および環境報告書の修正箇所について事務局から説明を行い、委員の確認を行った。その後、環境報告書の順に評価が悪いところを中心に委員による審議を行った。

審議で得られた意見・提案については、第3回入間市環境審議会でも再度審議し、市長に提出する意見書とするか検討する。

以上

## 会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)
	【審議会】
司会(松落)	1 開会
環境経済部長	前回欠席した委員への委嘱状交付
黒瀧会長	2 会長あいさつ
	傍聴人入場
事務局(西村)	3 議 題
	(資料1「本日の審議の流れ」に沿って説明)
	(1) 本日の審議内容
	(2) 事前質問への回答
	・事前質問への回答は、資料2、資料3
	・事前質問を受けて評価を見直したい内容は、資料4
	(3) 施策の進捗に関するご意見について
黒瀧会長	評価を修正した点について資料4のとおり事務局から説明がありましたが、指標番号14以外について、修正について何か意見はありますか。
	(意見なし)
黒瀧会長	指標番号14については、「次期最終処分場の建設に向けた検討・計画の策定」となっていますが、現状としては、再資源化を推進することで最終処分場を建設しないことにしたと言うものです。事務局は現状維持としていますが、取扱いに悩んでいるということで、これについて皆様ご意見はありますか。
嶋田委員	評価の選択肢に再検討などの項目を追加することはできないのでしょうか。

発 言 者	発 言 内 容
事務局(西村)	<p>新たな項目を増やすと、集計がしづらくなることと、各事業で新しい評価基準が乱立し評価が難しくなる懸念がありますので、事務局としては、まず枠から逸脱しない形での評価をしています。項目を追加しても、注釈をつけるなどして対応はできますので、特に、審議委員の皆様から認めてもらえるのであれば可能です。</p>
黒瀧会長	<p>私の意見となりますが、事務局が心配している46ページの集計については、「未着手」を「未着手・その他」とし、注釈を加えていただければ問題ないと思います。皆様はいかがでしょう。</p>
嶋田委員	<p>現状維持だと変化がないように感じられ、全く別のメッセージでとらえられてしまうので、会長がおっしゃるようにまとめるのが無難だと思います。</p>
黒瀧会長	<p>それでは、審議会の意見としては、評価を「方針変更」とし、集計の際には注釈をつけて、「未着手・その他」に含めるということによろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
黒瀧会長	<p>その内容で審議会意見とします。</p>
黒瀧会長	<p>続いて、評価が悪化となっているものを中心に委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。</p> <p>まず、基本方針1 1循環型社会の推進 ①ごみ減量の推進について、リサイクルプラザの教室参加人数と、生ごみ処理機器の購入補助件数が目標達成していませんが、目標を達成するための妙案等ありましたらお願いします。</p>
坂野委員	<p>具体的な実施内容やこういった所が難しいのか教えていただけますか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
総合クリーンセンター所長	<p>提案としては、後半の環境啓発にも関係しますが、取組をアップデートして、市内プレーヤーや協業している事業者の方に、取組紹介や啓発コンテンツを提供してもらい、場所としてリサイクルプラザを活用というのはいかがでしょうか。</p> <p>今年初めて実施した取組として、事業者との連携により、夏休みにガラスアートを実施したのですが、人気でしたので、そういった事業者との連携も必要だと考えています。生ごみ処理機については、予算の都合で目標件数に届かなかったため、予算も含めて検討させていただいています。</p>
黒瀧会長	<p>坂野委員のご意見について、委員の皆様からご意見はありますか。</p> <p>(異議なし)</p>
黒瀧会長	<p>では、坂野委員からの、市内プレーヤーや事業者にコンテンツを提供してもらうというご提案については、審議会としての意見・提案とします。</p> <p>続きまして、②リサイクルの推進については、資源化率、資源回収登録団体数、資源回収登録団体の回収量がいずれも少なくなっているということですがこちらについてのご意見はいかがでしょうか。</p>
坂野委員	<p>どの自治体でも集団回収の減少は起こっている問題だと思われ、原因としては高齢化や団体運営が難しくなって来ているというものが多いと理解しています。</p> <p>提案としては、2点あります。</p> <p>1点目は、事情を調べる意味で、やめられた団体へのヒアリングは行っていただいた方が良いでしょう。</p> <p>2点目はこの資源回収団体への補助金を違う座組に転用するという事です。今のやり方では、高齢化や若い世代も働いていて取組に参加できないなど</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>の事情で難しくなっているので、例えば、事業者の店舗やオフィスに回収ボックスを設置する店舗回収でも、資源回収の品目に貢献した場合には、補助の対象に加えられると言うような仕組みにできないでしょうか。</p>
黒瀧会長	<p>指標9、10についてご提案がありました、皆様いかがでしょうか。</p>
吉野委員	<p>ただいまの提案、とてもわかりやすく良いと思います。</p> <p>私も PTA で関わったことがあるのでわかりますが、多くの家庭では、補助金をもらっていることや市がリサイクルの数値をどの程度集計しているのか知らないです。</p> <p>保護者全体に通知できるようなちょっとした資料で、子どもがみても分かるようリサイクルの流れや、補助金が受け取れるという情報がいただくと、もっと浸透していくと思います。</p>
黒瀧会長	<p>今のご意見に関して、現状を事務局に確認したいと思います。資源回収や補助金について、どのように伝達されているか教えてください。</p>
総合クリーンセンター所長	<p>資源再利用補助金の登録団体に対しては、年に1回通知を送り確認しています。</p> <p>資源回収の指標に関して、回収量はかなり減っていますが、収集している資源ごみも10年前から見ると半減していますので、進めるのが難しいのが現状です。先程ご意見いただいた店舗との連携も考えていきたいと思いますが、指標としてどうかと言う点でも検討していただきたいと考えています。</p>
嶋田委員	<p>提案に対する意見ではありませんが、市の方から説明がありましたように、資源化できるごみが減っている以上、資源化率での評価に無理が生じていると思います。家庭でのごみの排出量が減っているということなので、1人あたりの</p>

発 言 者	発 言 内 容
坂野委員	<p>焼却するごみの量で評価するような指標設定が必要なのではないかと思います。</p> <p>嶋田委員の指標についてのご提案に賛成です。</p> <p>併せて2点ご提案ですが、1点目は、他の自治体で提唱させていただいているものの中の一つに地域の中での利活用率というものもありますので、資源率だけでなく、リユースや食品ロスなど、減らせた量や循環できた量を指標にするのがどうなのかと言うものです。</p> <p>2点目が、団体における資源回収の対象が古紙、古布になっているようなので、プラスチックなど回収対象の品目を拡大するのはどうなのかというものです。先程提案させていただいた場所の拡大と合わせてこの対象の拡大も実施すると良いと思います。</p>
黒瀧会長	<p>では、一度元の意見から振り返りまして、ここまでで出た意見として、指標に関しない部分でまず次の2点ご提案がありました。</p> <p>1点目が、資源回収団体の減少に対して、辞める団体に理由を聞いた方が良いというご意見でした。</p> <p>2点目が、回収場所や回収対象について資源回収の仕方を変えてみてはどうかと言うご意見でした。</p> <p>この部分について、意見はいかがですか。</p> <p>(異議なし)</p>
黒瀧会長	<p>では、この2点について審議会の意見としたいと思います。</p> <p>続きまして、指標に関するご意見として、2つありました。</p> <p>1点目が、1人当たりの焼却ごみの量を指標としたらどうかというご意見でした。</p>

発 言 者	発 言 内 容
平塚委員	<p>2点目が、地域での利用率を指標としてはどうかと言うご意見でした。これらについてのご意見はいかがですか。</p> <p>議論を伺っていてその通りだと思いました。</p> <p>リサイクルの値については、リユースやリデュースを進めることとトレードオフとなり、それぞれ%で示すか総量で示すかなどの考え方もありますので見直しは必要だと思います。</p> <p>ただし、リユースとリデュースの割合や貢献度は具体的にどう計算していくのかが見えにくいので、実態把握をして来年の審議で考えるくらいでちょうどいいのかなと思いました。</p>
坂野委員	<p>同意します。</p> <p>ただし、最終的に評価できるように持って行くことも重要ですが、一方でこういう取組を頑張ろうと言うところをセットしたうえで評価方法を考えることも必要ですので、評価ありきにならないようにだけは注意したいということを申し添えさせていただきます。</p>
黒瀧会長	<p>他にご意見はございますか。</p> <p>(異議なし)</p>
黒瀧会長	<p>それでは指標については、1人当たりの焼却ごみの量を指標とするということと、地域での利用率という指標を検討すること、ただし評価できないからやらないということにはならないように、と言うことを審議会の意見とします。</p>
坂野委員	<p>指標5の生ごみ補助について、提案をさせていただきたいです。</p> <p>予算いっぱいまで補助をされていると言うことで予算の見直しも検討されて</p>



発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>いるということでしたので、非常に良いと思いますが、一方で設置後使用されているのかと言うのも難しいポイントだと思います。設置後の使用状況について定期的にヒアリングや事後フォローをしていただきたいです。その上で、使いやすさ等について、推奨するものを提示していただくといいと思います。</p> <p>市では、現状設置後のフォローは何かしていますか。</p>
総合クリーンセンター所長	<p>現在のところ、設置後調査等は行っておりません。追跡調査については、やってみたい取組だと考えています。</p>
黒瀧会長	<p>ただいまのご意見について皆さんどうですか。</p>
平塚委員	<p>おっしゃるとおりだと思うのですが、事務手続きを考えると大変だと思います。導入時にどれだけ使うのかは約束ごととしてあると思いますので、それに基づいて使用していない人を追跡することまで市役所の業務として行うべきなのかは考える必要があると思います。</p>
吉野委員	<p>生ごみ処理機について、単価の高いものが多かったとありますが、高い物の方が、性能が良いものだと思います。本当にそれが使い勝手が良かったのか、処理量はどれくらいなのかと言ったことについてヒアリングして返してもらおうと今後利用する人の参考になると思います。</p> <p>確かに、そこまで市の職員の方がやる必要があるのかは疑問がありますが、使う側としては可能ならそういった情報をいただきたいと思います。</p>
嶋田委員	<p>私も役所側の人間なので、個別にヒアリングと言うのは大変だと感じます。ですから、要綱でアンケートシステムに答えることを義務化して、相手方に答えてもらうといった方法もあると思いました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>吉野委員のご意見について補足しますが、高いものと言うのは電気式の処理機で生ごみを乾燥させて匂いもしなくなる機器で、安いものは通常の堆肥化をするためのコンポストになっています。</p> <p>嶋田委員の意見について私もそう思います。</p> <p>ご意見を取りまとめますと、設置後の利用状況についてアンケートで答えてもらうということも含めて何かしらのフィードバックを貰えないか検討していただきたいということと、それにあたっては市の負荷が増えすぎない方法を配慮する必要があるということの2点となります。</p>
坂野委員	<p>1点だけ補足しますと、皆さん購入するときは使うつもりで購入しますが、使っていく中で面倒だと思つとやめてしまう、ということが全国で起きていることです。リマインドを兼ねてアンケートを送ることで継続への効果が見込まれるということと、最終的には、処理機の導入によって生ごみないしその水分が減ってどれだけ焼却ごみが減ったのかと言う結果に意味がある制度だと思いますので、その実効性を求めるために必要なことをやっていただくことがカギだと思います。</p>
黒瀧会長	<p>審議会の意見としては先程のとおりとして、ただいまのご意見を附帯意見とさせていただきますと思います。</p> <p>次に15ページの指標番号15住宅用省エネルギー設備設置費補助金は、目標150件に対して1件となっています。理由としては補助対象が V2H 充放電器のみとなったこととされていて、令和5年度は、太陽光発電設備や蓄電池も対象にしているということです。</p> <p>これに対して有効な対策等についてご意見、ご提案はありますか。</p>
新関委員	<p>令和4年度は300万円の予算で補助額が30万円と言う事ですが、令和2年度も同様の予算だったのでしょうか。それとも予算が減ってきて現在の状況な</p>

発 言 者	発 言 内 容
エコ・グリーン政策課長	<p>のでしょうか。</p> <p>この補助金につきましては、政策的な事情もあり内容が変わっています。</p> <p>令和2年度は500万円の予算で、太陽光パネルやリチウムイオン蓄電池、太陽熱利用などの機器が対象となっていました。また、1件あたりの補助金額も1件5万円等でした。令和3年度は、補助内容は令和2年度と同様で、予算額が250万円になってしまったため、件数が半減しています。令和4年度はV2Hのみとなり対象が大きく変わったので、1件のみとなってしまいました。</p> <p>令和5年度は、また対象を拡大し、1件あたりの補助額も以前より大きくなっています。国の交付金も対象となりましたので、条件に合う設備については太陽光発電設備の場合、最高で35万円と、新しい補助メニューになっています。</p>
嶋田委員	<p>制度そのものがガラッと変わっているのに同じ指標で評価すること自体かなり無理があると感じます。この評価自体がどうなのか議論した方が良いように思います。</p>
黒瀧会長	<p>ただいまのご意見についてみなさまどう思いますか。</p>
新関委員	<p>V2Hも必須になったと言うことで、対象が違うのであれば指標を見直す必要があると言う意見に賛成です。</p>
エコ・グリーン政策課長	<p>令和4年度はV2Hのみが補助対象となっていますが、令和5年度は太陽光発電等についての補助金を実施しています。ただし、以前とは金額や条件も異なるため、指標との乖離はあり、中間見直しで整理したいと考えています。</p>
黒瀧会長	<p>指標15については、制度が変わっているため中間見直しの際には、指標の見直しが必要ということで意見としてよろしいでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>(異議なし)</p> <p>では、その内容で意見とします。</p> <p>続いて、基本方針2の指標番号31番について令和4年度の補助件数は0件ということでした。設置の範囲や条件が限定されているため申請が無かったということですが、何か意見はありますか。</p>
黒瀧会長	<p>(意見なし)</p> <p>続いて、基本方針3の指標番号41番保護樹林・市民の森の面積が減少していることについて、ご意見はありますか。</p>
新関委員	<p>制度の見直しを行っており、面積が減少となっていますが、制度の見直しと面積の減少は関係があるのでしょうか。</p>
事務局(西村)	<p>制度の見直しは、保護樹林を借上型から奨励型に変更をしたもので、従前は市が行っていた維持管理を土地所有者が行うことになりました。そのため、土地所有者の負担が増えたということが減少の要因となったと考えられます。</p> <p>それ以外の減少要因として、土地所有者の都合で減っていく部分も当然ありますが、令和4年度の主な減少要因としては、制度の変更による部分が大きいと考えたため、環境報告書のと通りの記載となっております。</p>
黒瀧会長	<p>事務局から説明がありましたが、なにかご意見ありますか。</p>
坂野委員	<p>直接的な数字ではないのですが、基本方針2の里山の保全でもそうでしたが、ボランティアの方がどれだけ関わったのかという指標があるのに、市民の方のこの場所へのアクセス、利活用についての指標が無いのが気になります。市</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>民の方が認知して、使用して初めて意味があると思いますので、そういった指標を追加することについても中間見直しの観点に入れたら良いと思います。</p> <p>ただいまのご提案は、保護樹林・市民の森の面積を指標としていますが、どのように活用しているのかという点も大事だというものでした。こちらの意見については、指標の追加になると思いますが、中間見直しで検討するということがよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
黒瀧会長	<p>では、審議会の意見とします。</p> <p>つづいて、32ページ指標番号48番文化財保護啓発事業への参加人数と、51番伝統文化活動団体の会員数について、どちらも新型コロナウイルスの影響で活動が停滞したことが原因となっていますが、これに対してご意見はありますか。</p>
嶋田委員	<p>啓発事業については、リアルだけでなく、オンラインやハイブリットの開催方法も増えてきていますので、そういったハイブリット型の講座を増やしていく方法があると思います。</p>
黒瀧会長	<p>ただいまのご意見については基本方針5の方が中心になりますので、基本方針5の方で議論させていただきたいと思います。</p> <p>つづいて、基本方針4指標番号54工場事業所等への水質調査件数が目標未達となっています。こちらに対するご意見はありますか。</p>
嶋田委員	<p>説明に予算の都合でと書かれていますので、ほかに原因がないなら、達成のために手当する点は予算になると思いますが、どうなのでしょう。</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	実際に調査しなければならない件数は5件以上あったのでしょうか。その点について事務局に確認します。
生活環境課長	当初9件を対象に調査していましたが、何年か継続調査するうちに、指摘で改善する事業所と改善しない事業所が明確になってきました。そのため、改善しない事業所は毎年調査し、問題がない事業所や改善が見られた事業所は年度ごとに対象を入れ替えて実施することになっています。
黒瀧会長	調査対象は5件以上あるということですね。
嶋田委員	今の説明だと必ずしも予算が要因ではないように思います。かなりネガティブなイメージになりますので、報告書に「予算の都合で」という文言を入れなくていいと思います。
黒瀧会長	これは報告書を修正していただくということとします。 施策に対しての提案やご意見はなしということによろしいですか。  (意見無し)
黒瀧会長	続いて36ページ指標番号56番公害苦情(騒音、振動、悪臭)の受理件数に対する解決率ですが、目標100%に対して98%、87件中85件を解決したということですが、こちらに対してご提案はありますか。
新関委員	評価が悪化となっていますが、基準値は91%で、他の指標では基準値に対して悪化しているか改善しているかを評価しているものがあつたと思います。この評価はこれで良いのでしょうか。

発 言 者	発 言 内 容
事務局(西村)	<p>評価の考え方についての説明になります。</p> <p>イメージとしては、順調に進展していく場合、基準値をスタートとして、毎年目標値に向けてだんだん進んでいくような形を想定しています。</p> <p>基準値より下がっている場合は前年度の数値がどうであっても、悪化としています。また、基準値より上がっていても前年度より悪くなった場合にも悪化としています。つまり、基準値より下、または、前年度より下のどちらか一方でも該当した場合は、評価は「悪化」となります。また、基準値より良好、かつ、前年度より良好で「進展」としています。</p> <p>全体としては、概ねこのルールで評価しています。</p>
黒瀧会長	<p>ほかにご意見はありますか。</p> <p>(意見なし)</p>
黒瀧会長	<p>最後に基本方針5ですが、まず、38ページの指標番号58環境フェアの参加団体数と、指標番号61博物館と学校の連携による環境学習への参加者数について、ご意見はありますか。</p>
坂野委員	<p>事前質問で学校の参加状況を質問しており、市内小中学校100%が授業を実施されているという回答でしたが、これ以上どう伸ばすのか疑問があります。</p> <p>目標設定の際に何を見込んでこの目標値を設定したのでしょうか。</p>
事務局(西村)	<p>当時5,500人をどのように算定したのか、詳しい方法は分かりませんが、児童数が減少していくことを見込んで、基準値より少ない人数を目標にしています。</p> <p>令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の関係で数値が下がりましたが、令和4年度は再開し、現状、全ての小中学校で、小学3年生、6年生と</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>中学2年生を対象に実施しています。いままでのやり方では限界値に近いので、オンライン授業等を活用し、他の取組を行うことで、目標に近づけないかというのが現在の状況です。</p> <p>当時の児童数の見込みが実際より厳しい数値となっていたのか、プラスアルファの取組を期待した数値なのか否かにつきましても、申し訳ありませんが、今は資料が無いため分かりません。</p> <p>第3次環境基本計画を制定した際、この目標値については、児童数の減少を見込んだ数字としていました。</p> <p>ご意見、ご提案はございますか。</p> <p>(意見なし)</p>
黒瀧会長	<p>続きまして、40ページ指標番号63ごみ減量推進モデル地区の設定と活動支援・PRと、指標番号66COOL CHOICE 運動について、広報いるまへの掲載数となっています。ご意見はありますか。</p>
坂野委員	<p>指標番号63について、計画書の方を拝見したところ、「区・自治会と連携し、ごみ減量地区説明会を開催します」と書いてありますが、一方で指標の方は「モデル地区の設定と活動支援・PR」となっていて、説明会だけではなさそうなニュアンスです。もともとの想定として、説明会をすることが大事という施策なのかそれ以外も想定しての指標なのか、そのあたりを伺いたいです。</p>
総合クリーンセンター所長	<p>ごみ減量地区については、説明会を主に実施しています。入間市を大きく6地区に分けて、おおむね各地区2自治会を対象にしています。</p> <p>各自治会への支援としては、ごみ集積所の関係での支援を行っていますが、この指標の支援・PRが何を想定していたものかは把握していません。</p>



発 言 者	発 言 内 容
坂野委員	<p>説明会が指標となっていることについては、それで良いと思いますが、ごみ減少推進地区ということで説明会を受けるだけでなく、何かしらの減量活動をやっていると思います。そのあたりの成果を測るものがあったても良いと思います。</p>
黒瀧会長	<p>ごみ減量推進モデル地区については毎年12地区で行っていて、令和4年度の説明会はそのうちの11自治会だったと言う理解でよろしいでしょうか。</p>
総合クリーンセンター所長	<p>そのとおりです。</p>
黒瀧会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、これに対してほかにご意見等がありますか。</p> <p>(意見なし)</p>
黒瀧会長	<p>それでは、43ページの指標番号69番資源再利用団体の登録数、70番資源再利用団体の回収量、71番市民清掃デーの参加世帯数の割合の3つが悪化となっております。こちらに対して何かご意見はありますか。</p> <p>(意見なし)</p>
黒瀧会長	<p>それでは、先程、嶋田委員から、対面式とWEBのハイブリットによる啓発事業の実施についてご意見がありましたが、基本方針5の環境学習の推進に関連して議論するとし、そのままになってしまっておりましたので、こちら審議会の意見として入れさせていただくということでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>審議会意見として追加します。</p> <p>以上で悪化した部分については全て確認しましたが、逆に進展している部分等で褒める内容やこういった部分でもっと推進していただきたい等、全体をとおして何か意見はありますか。</p>
新関委員	<p>最終処分場の話に戻りますが、最終処分場への埋立量の削減がかなり進んでいて、現処分場の埋立完了は延びているということでしょうか。当初予定よりも延命されているということであれば、それを示していただいてもいいと感じました。</p>
総合クリーンセンター所長	<p>埋立量はごみの量の減少に伴い、年々減少しており、最終処分場の完了について、当初の予定は既に過ぎています。付近の借地の状況等もあるので、延命をさせると言うよりは、焼却灰等の資源化に向けて舵を切ったところです。現在のところ、令和10年度までの埋立を予定しております。</p>
坂野委員	<p>教育分野も含めて色々な施策を既に実行されていて素晴らしいと思いました。外部の事業者との連携も進められているので、市内外の連携先を増やすことで、取組を広げていくと言うのも非常にいい流れだと思います。</p> <p>一方で、取組の効果が最終的にどう表れているのかを測ることが非常に重要だと思います。施策の指標がやったかやってないか、何件できたかに留まってしまふことは、計画上仕方のないことだと思いますが、本当に重要なのは、何人来たかより来た人の意識が本当に変わったのか、さらには、意識が変わった先に例えばごみが減るなどの結果がでることが重要だと思います。</p> <p>この指標上では難しいと思いますが、他の自治体では全域でアンケートをしますと言うようなものもあり、例えば、イベント参加者へのアンケートの結果だけでも審議会の参考資料として共有していただけると、審議委員として、指標が効果として前進しているのか実感できてありがたいです。</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>また、そうしたところまで測っていくということが施策に反映されると非常に良いと思います。</p> <p>全体的に取組は良く実施されていますが、それとは別に実施した施策の有効性を測ってください、ということだと思います。この意見に対してご意見はありますか。</p> <p>(意見なし)</p>
黒瀧会長	<p>では、この意見は付帯意見としたいと思います。</p> <p>議事については、以上としたいと思います。全般的に何かありますか。</p>
平塚委員	<p>直近3年間でレビューするのは非常に難しいと思います。例えば、新型コロナウイルス感染症が5類になったのも今年に入ってからで、昨年、一昨年はその影響で活動量が大きく下がっていると思います。そういった指標が1つあると良いと思います。</p> <p>また、活動量としては、人口が減っていますので、ごみの量が減るとか、温室効果ガスについても自ずと下がっていきますので、そういったことが前提としてあっても良いと思います。</p> <p>ですから、冒頭にそういったダイナミックな動きがあった3年間だったと言うことと、入間市の人口動態があった方が分析しやすいと思います。</p> <p>話を伺うと個別のプラスマイナスの要因は分かれますが、見ただけだと分かりにくい部分があると思いました。</p> <p>また、5個の基本方針がありますが、分野横断的なところがあまりないと思いますので、どう見るかは来年の課題だと思います。たとえば、コミュニティバスの利用者は増えるのが良いことと捉える一方で、SPOBYを使ってバスに乗らないで歩くのが良いことという面もあるので、どっちが良いことなのか分かり</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>にくい部分があるので、今後の課題だと思います。</p> <p>只今のご意見は中間見直しの際に検討すべき事項だと思いますので、事務局には、今の話を踏まえて検討していただきたいと思います。</p> <p>ほかに質問、ご意見はありますか。</p> <p>ないようですので、議事は以上となります。議事が終了しましたので、傍聴人の方はご退席をお願いします。</p> <p>(傍聴人退席)</p>
黒瀧会長	<p>それでは、議長の座をおろさせていただきます。</p>
事務局(西村)	<p>4 事務連絡</p> <p>(1)スケジュール 第3回審議会 令和6年1月26日(金)午前10時から12時</p> <p>(2)事業の紹介</p> <p>①SPOBY</p> <p>脱炭素のために、車での移動を徒歩や自転車に変えていただくための取組。徒歩や自転車で移動することでポイントがたまり特典がもらえる。現在推進しているので、ぜひダウンロードしていただきたい。</p> <p>②入間市脱炭素型ワークショップ事業～ゼロカーボンカードゲーム～</p> <p>2050カーボンニュートラルというカードゲームを利用して、様々な立場に分かれてカーボンニュートラルを目指す体験をする。ぜひ参加して欲しい。</p>
黒瀧会長	<p>5 閉会</p> <p>(閉会のあいさつ)</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和5年12月12日</p> <p>議 長 の 署 名      黒龍孝彦</p> <p>議長が指名した者の署名      平嶋 寛人</p>